

年頭のご挨拶

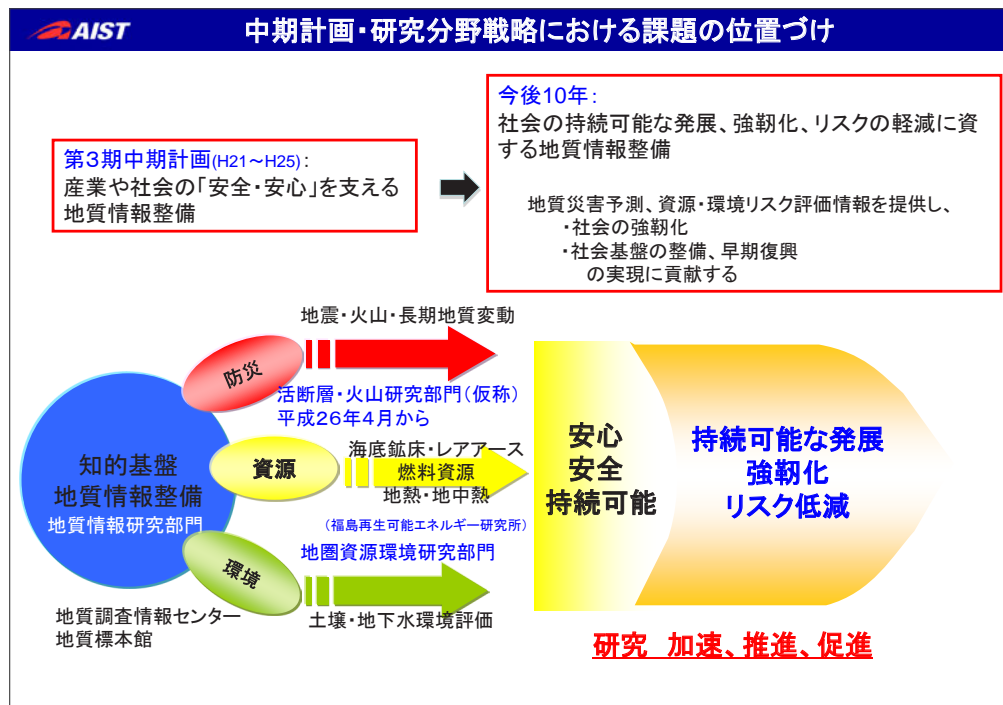
佃 栄吉（産総研 地質調査総合センター代表）

2014年の年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

産業技術総合研究所は経済産業省所管の独立行政法人として、中期計画・中期目標のもとで研究活動を実施しています。平成26年度は第3期5年計画の最終年度になります。この間、産総研地質分野では国の知的基盤整備計画に基づき、陸域、海域、沿岸地域等の地質情報の整備について国内外との連携を活発に行ってきました。その連携を明示的に行うため「地質調査総合センター（Geological Survey of Japan）」のもとで一元的な体制で対応しています。また、基盤地質情報をプラットフォームとして、レアメタルやメタンハイドレートの資源評価、地震・津波・火山災害評価、土壌汚染や地下水汚染対策への貢献等、社会的貢献を目指して研究活動を続けています。現在、地震・火山災害軽減に貢献する特徴的な新研究部門を本年4月には設立すべく準備を進めています。活断層・津波堆積物・

火山地質・地質構造調査等を基礎として、低頻度大規模災害としての地震・火山災害軽減に貢献できる研究や長期地質変動予測の研究を進めることとしています。これらの特徴的な3つの研究部門の体制で、研究活動を活性化していきたいと思ひます。また、福島県郡山市に拠点を置く、福島再生可能エネルギー研究所も本年4月からその研究活動が本格的に開始されます。そこで重点的に行われる地熱・地中熱の研究にも力を結集していきたいと思ひます。

地質調査総合センターでは地質調査情報センターや地質標本館により、社会に広く活用される地質情報の公開を目指しています。専門家のみならず一般の方々を対象としたシンポジウムやワークショップの開催等を通して、成果の普及に努めてまいりたいと思ひます。本年も皆様のご支援を引続きよろしくお願ひします。



産総研地質調査総合センターの研究活動概要。